

## 「沿岸域における地震防災」 ー津波浸水予測域におけるレジリエンスの向上ー

平成24年3月の「南海トラフの巨大地震による震度分布・津波高の予測見直し」により、東海地域の沿岸域の多くで、従来の震度6強から7に、津波高の予測値も大幅に引き上げられ、沿岸域の住民・企業に不安が増えています。そうした地域で切実に求められる「災害に対する強さ」とは、防災・減災技術の深化による被害の最小化に加え、被災から立ち直る回復力を備えた「レジリエンス (resilience) の高い」地域社会です。

本シンポジウムでは、戦後に埋め立てられた堤外地工業団地等の沿岸域における巨大地震と津波に対する、防災・減災並びに被災後の早期復旧・事業継続に関連した各種課題や対策等について、一般市民・企業家・自治体関係者・技術者が一緒に考える機会をもちます。

日 時：2012年12月 7日 (金) 13:00～17:00  
会 場：豊橋商工会議所 9階大ホール (豊橋市花田町字石塚 42-1)  
対 象：一般市民・企業家・自治体関係者・技術者  
参加費：無料  
定 員：150名  
主 催：日本建築学会災害委員会、日本建築学会東海支部  
豊橋技術科学大学安全安心地域共創リサーチセンター、  
後援 (予定)：国土交通省中部地方整備局三河港湾事務所、愛知県三河港務所、  
豊橋市、三河港振興会、蒲郡地区委員会防災部会、御津臨海企業懇話会、  
明海地区防災連絡協議会、神野地区防災自治会、田原臨海工業連絡会、  
豊橋商工会議所

### プログラム (予定)

総合司会：増田 幸宏 (豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター 副センター長)

○開会挨拶 榊 佳之 (豊橋技術科学大学長)

○特別講演

講 師：重村 力 (神奈川大学教授・元日本建築学会副会長)

「三陸における津波被災集落の減災と復興の課題」

○パネルディスカッション「沿岸域における地震防災」

#### ■話題提供

・「沿岸域構造物の津波被害とその対策」

根木 貴史 (運輸政策研究機構 運輸政策研究所 主任研究員)

前・国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋研究部 沿岸防災研究室長)

・「沿岸域での建物の揺れの特徴と地震観測の重要性」

田村 和夫 (千葉工業大学 教授)

・「臨海工業団地における事業継続性計画 (BCP) の取り組み」

戸田 敏行 (愛知大学 教授)

・「沿岸域での液状化対策ー東日本大震災における東京湾臨海部での被害に学ぶー」

中井 正一 (千葉大学 教授)

・「津波浸水後の応急復旧のための資材・仮設構造システムの開発」

濱本 和彦 (ヒロセ株式会社 常務執行役員)

#### ■討 論

進行：斉藤 大樹 (建築研究所 国際地震工学センター上席研究員/名古屋大学 減災連携研究センター客員教授)

○閉会挨拶 山田 聖志 (日本建築学会東海支部災害委員長/豊橋技術科学大学安全安心地域共創リサーチセンター長)

\*17:30～19:30 豊橋商工会議所内で『意見交換会』(会費3000円程度)も予定しています。

お問い合わせ・事前申込先

豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター (担当：岡辺・佐野)

TEL：0532-44-1320 FAX：0532-44-6568 E-mail：carm@office.tut.ac.jp